

1 はじめに

額田地区の路線は、幹線（地域間交通ネットワーク）として桜形線、くらがり線、フィーダー路線として額田支所・市民病院線、下山、形埜、宮崎、豊富・夏山地区線が運行している。

額田地域生活交通協議会をはじめとした地域の協議会において、各路線の利用促進や、コミュニティバスの運行内容等について検討を進めており、本会議において現状の報告を行うものとする。

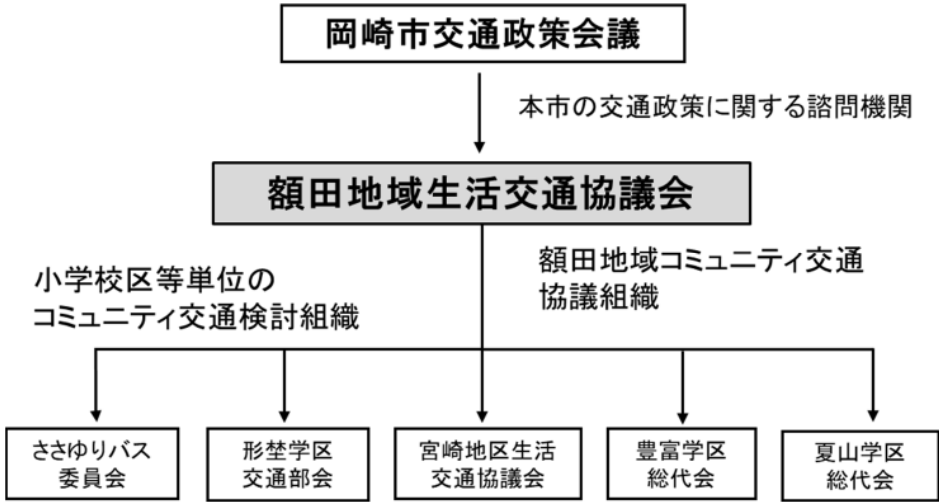
2 額田地区の概要

R2.4 時点

人口 学区別	7,857 人 豊：4,163 人 夏： 689 人 宮：1,129 人 形：1,248 人 下： 628 人	
年少人口割合 （15 歳未満）	10.04% （市：14.30%）	
高齢者人口割合 （65 歳以上）	36.99% （市：23.26%）	
過疎地域等 指定状況	山村振興法	

3 地域協議会等

各地区協議会が 5 つ、額田地区全体として 1 つの協議会があり、運行内容の改善策や、地域に合った運行方法の検討等を進めている。



4 額田地区を運行する路線バスの利用状況

(1) 令和元年度実績について

- 1 日あたり利用者数は路線全体で 200 人程度であり、本市黒字路線と比較すると大幅に少ない。（本市黒字路線岡崎市内線は約 7,000 人）
- 利用者数のうち額田エリア（※）を含めた運行に限定すると、3 割程度の利用となる。
- 通勤・通学利用者数は 1 日あたり 44 人だが、額田エリア内での乗降者に限定すると、1 日あたり 13 人にまで減少する。

※額田エリア： バスの運行頻度が比較的少なくなる豊田鉄工前、額田支所前、築野以東のエリアとする。

R01 実績

	年間利用者数	1 日あたり 利用者数	1 日あたり 通学・通勤利用者数※ （額田⇄市街地）	運行便数／日		R1 本市補助額
				平日	休日	
桜形線	4,714 人 (40,481 人)	12.9 人 (110.6 人)	0 人 (25 人)	8 便	8 便	19,481 千円
額田支所・ 市民病院線	4,129 人 (6,126 人)	11.3 人 (16.7 人)	2 人 (2 人)	12 便	11 便	19,388 千円
くらがり線	9,626 人 (21,085 人)	26.3 人 (57.6 人)	8 人 (14 人)	11 便 (19 便)	10 便 (18 便)	14,184 千円
下山地区線	2,782 人	11.6 人	3 人	8 便	-	13,928 千円
形埜地区線	658 人	4.7 人	-	4 便	-	6,656 千円
宮崎地区線	307 人	3.3 人	-	7 便	-	4,069 千円
豊富・ 夏山地区線	397 人	4.1 人	-	4 便	-	3,803 千円
額田エリア乗降計 （路線合計）	22,572 人 (71,795 人)	74.2 人 (208.4 人)	13 人 (44 人)	54 便 (62 便)	29 便 (37 便)	81,509 千円

※R1 乗降実績より

※名鉄バス路線（桜形線、額田支所・市民病院線・くらがり線）は OD 調査日（R1.11）定期券利用者。

コミュニティバス（下山・形埜・宮崎・豊富・夏山地区線）については朝夕便利用者。

(2) 各地区からの主要な移動先について（図 1 参照）

- ・ エリア内では、コミュニティ交通利用による診療所への移動が多い。
- ・ 通勤、通学で利用されているげんき館、市民病院、本宿駅への利用が多い。

△エリア内移動

エリア内移動（豊田鉄工前、築野、額田支所以東）

路線	人/年	人/日	主な移動先の施設
桜形	172	0.9	
支所・病院線	224	0.6	
くらがり	130	0.7	
下山	1,153	10.5	診療所(9.7人/日)
形埜	658	4.7	診療所(4.1人/日)
宮崎	307	3.3	診療所(3.1人/日)
豊富・夏山	397	4.1	診療所(3.7人/日)

△額田エリア⇄市街地移動

エリア内外移動（額田⇄市街地停留所）

	地区	停留所	人/年	人/日	主な移動先の施設
1	下山地区線沿線地区	⇄ げんき館	1,193	5.0	公共施設、高等学校
2	下山地区線沿線地区	⇄ 洞町	308	1.3	商業施設、診療所
3	下山地区線沿線地区	⇄ 市民病院	128	0.5	病院
4	桜形線沿線地区	⇄ 東岡崎駅	1,667	4.6	鉄道駅
5	桜形線沿線地区	⇄ 康生町	386	1.1	商業施設
6	桜形線沿線地区	⇄ 洞町	514	1.4	商業施設、診療所
7	桜形線沿線地区	⇄ 市民病院	398	1.1	病院
8	支所・病院線沿線地区	⇄ 市民病院	1,832	5.0	病院
9	支所・病院線沿線地区	⇄ 大平駒場	1,064	2.9	商業施設、診療所
10	くらがり線沿線地区	⇄ 本宿	7,034	19.2	鉄道駅
11	くらがり線沿線地区	⇄ 工業団地	665	1.8	企業
12	くらがり線沿線地区	⇄ 額田支所	405	1.1	公共施設

(3) まとめ

◎額田地区を運行するバスの利用者は少ない。

（1 日あたり 200 人程度 ※本市黒字路線岡崎市内線は約 7,000 人）

◎地区内の移動についてはコミュニティバス利用による診療所への移動が多い。

（1 日あたり 3、4 人程度、下山地区については、9.7 人）

◎エリア外へは、通勤等で定期的に利用される路線の利用があり、本宿駅への移動が多い。

各地区からの主要な移動先

図 1

